

# 平成 28 年度日本登山医学会認定山岳ファーストエイド講習会 ベーシックコース募集要綱

平成 28 年 2 月 5 日

(訂正) 平成 28 年 3 月 22 日

(訂正) 平成 28 年 4 月 1 日

一般社団法人日本登山医学会理事長 増山茂

一般社団法人日本登山医学会理事・山岳ファーストエイド委員長 大城和恵

## 1. 趣旨

登山など野外での活動において傷病者に遭遇した場合、現場での非医療者による適切な応急・救命処置は、搬送時間を考慮すれば、救命率を高める重要なポイントとなっています。また、山岳や野外における応急・救命処置は、近年確立されつつある都市部におけるそれとは異なる側面を持ち、野外環境の特性を踏まえた正しい知識と適切な応急・救命技術を身につけた救助要員の養成、登山者や野外活動者の自助能力の獲得、が望まれます。

本講習では、登山など野外での活動における生理的变化、傷病、応急・救命処置に関し、欧州や北米などで標準的となりつつある医学的知見に基づく知識と技術の習得を目的として開催します。これにより、登山など野外での活動において、予防医学の実践、傷病者への初期対応技能を上げ、事故や遭難の減少、救命率の改善・後遺症の軽減を図るものです。

## 2. 主催 一般社団法人日本登山医学会

## 3. 後援 スポーツ庁

独立行政法人日本スポーツ振興センター 国立登山研修所

公益社団法人 日本山岳協会

## 4. 期日、開催地、受付日程

開催期日	実施カリキュラム			開催場所	申込開始日	申込締切日	受講連絡日	講習開始・最終日解散時刻		
	A	B-S	C-S					受付	講習開始	解散
5月27(金)-29日(日)	27日	28日	29日	多摩スポーツセンター	3月28日	4月14日24時	4月21日	9:00	9:20	14:30
7月1(金)-3日(日)	1日	2日	3日	国立登山研修所	5月9日	5月26日24時	6月2日	9:00	9:20	14:30
	<b>A</b>	<b>B-W</b>	<b>C-W</b>							
2月3(金)-2月5日(日)	3日	4日	5日	国立登山研修所	11月21日	12月8日24時	12月15日	9:00	9:20	14:30
2月17(金)-19日(日)	17日	18日	19日	長野県山岳総合センター	12月16日	1月6日24時	1月12日	9:00	9:20	14:30

注意：Aは夏冬共通の内容、B、Cは夏(-S)冬(-W)で内容が異なります。

B、CはA受講後に受講して下さい。

夏のB、Cあるいは冬のB、Cは、連続する2日間で受講して下さい。B、Cどちらか1日のみの受講はできません。

## 5. 開催所在地

独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所：〒930-1406 富山県中新川郡立山町芦峯寺ブナ坂 6  
 一般財団法人社会スポーツセンター多摩スポーツセンター：〒206-003 東京都多摩市東寺方 647  
 長野県山岳総合センター：〒398-0002 長野県大町市 8056-1 0261-22-2773

## 6. コース構成

## (1) コース種類

1	ベーシックコース	夏コース	下記にある 11.参加対象者に該当する全ての方
		冬コース	
2	アドバンスコース	ベーシック（夏冬）終了認定を受けたもの	
3	プレミアムコース	アドバンス終了認定をうけ、インストラクター希望者	

全部で3つのコースがありますが、今年度開催されるのは、ベーシックコースになります。

## (2) 認定制度

(イ) 本カリキュラムは、国際山岳連盟医療委員会 (UIAA Medcom)、国際山岳救助協議会医療部会 (ICAR Medcom)、ISMM (国際登山医学会)、WMS (Wilderness Medical Society) のガイドライン、コンセンサスに則り、日本の病院内医療、救助実態、法規と整合性を配慮した内容となっています。5日間(夏+冬コース)の筆記、実技、技能の全てで評価基準を満たした方に、日本登山医学会認定ファーストエイド basic provider の認定証を授与します。認定証授与者は名簿に登録させていただきます。(登録有効期間は3年間です)。

夏コースまたは冬コースの各評価基準を満たした方に各コースの終了認定を授与します。初回(夏または冬)コースで、評価基準を満たさない項目がある方には、残りのコース(冬または夏)で再度評価を行ないます。そこで全ての評価基準に達すれば初回コースの終了認定も授与します。夏冬2度のコースでも、評価基準を満たさない場合、講習後に講習責任医師が合格までサポートします。終了認定を受けていない受講生は、初回コース受講日より3年以内であれば、何度でもコースを受ける事ができます(その場合、同じコースの2回目以降の受講料は無料)。

(ロ) 認定後3年以内に資格更新すると登録期間を更新します。ベーシックコースの資格更新は、夏コース・冬コースの3日目カリキュラム(C-WまたはC-S)のどちらかに参加し、筆記試験と実技評価、総合技能評価全てに合格することが要件です。(希望者は、コースの初日からの参加も可能。)

(ハ) ベーシックコース合格者は、アドバンスコースを受けることができます。アドバンスコースを優秀な成績で合格、かつ現役で山岳活動を活発にされている方は、プレミアムコース講習受講後に、本講習制度のインストラクターとして継続的にファーストエイドの知識と技術の研鑽を行うことができます。

## 7. ベーシックコース構成

## (1) カリキュラム構成

全カリキュラム 40 時間を、夏コースおよび冬コースで受講していただきます。カリキュラムは A, B, C に分かれます。カリキュラム A は最も基本となる内容となり、全カリキュラムの初めに受講して下さい。カリキュラム B と

C は夏コースと冬コースで異なる内容となり、**Summer** と **Winter** の頭文字を用い、夏コースでは **B-S**、**C-S**、冬コースでは **B-W**、**C-W** と称します。夏コース、冬コースどちらからの受講でも構いません。各コースは 3 日間ですが、カリキュラム A は初回時のみ必須のため、全カリキュラム (**A**、**B-S**、**B-W**、**C-S**、**C-W**) の履修は最短 5 日で終了します。希望者は A を 2 回 (計 6 日間) 受講することも可能です。その場合も受講料の割増しはありません。各コースには、筆記試験と実技試験、総合技能評価が含まれ、3 年以内に 5 日間全てを履修し、筆記試験、実技試験、総合技能評価の全ての基準を満たした方に日本登山医学会認定ファーストエイド basic provider の認定証を授与し、夏コース、冬コースそれぞれにおいて、全ての評価基準に達した方には各コースの終了認定を授与します。

	1 日目	2 日目	3 日目
	カリキュラム <b>A</b>	カリキュラム <b>B</b>	カリキュラム <b>C</b>
夏(S)コース	夏冬共通	カリキュラム <b>B-S</b> 、筆記試験、実技試験	<b>C-S</b> 、総合技能評価
冬(W)コース	カリキュラム	カリキュラム <b>B-W</b> 、筆記試験、実技試験	<b>C-W</b> 、総合技能評価

## (2)カリキュラム内容

	時 間	講義	実技
<b>A</b>	10	山岳ファーストエイドの概念、法規 初期評価 (総論、各論) 3SABCDE、基礎医学、ショック 外傷 (総論・各論、止血)、予防	3SABCDE、頸椎保護、心肺蘇生、体 位・移動、外傷処置、固定
<b>B-S</b>	9	内科疾患概論：糖尿病、喘息、アナフィラキシー 環境関連疾患概論：熱中症、高山病、落雷、熱傷	屋内・屋外シナリオトレーニング
<b>B-W</b>	9	内科疾患概論：心臓病、高血圧症、AED、脳卒中 環境関連疾患概論：低体温症、雪崩埋没、溺水、凍傷	屋内・屋外シナリオトレーニング
<b>C-S</b>	6	A, B-S の知識と実技を実践的に生かす屋外シナリオトレーニング	
<b>C-W</b>	6	A, B-W の知識と実技を実践的に生かす屋外シナリオトレーニング	

## (3)受講料金体系 (予定)

全 5 日間 社会人：55,000 円 (資料代、傷害保険料含む) (宿泊費・食費含まず。別途清算となります。)

学生：35,000 円 (資料代、傷害保険料含む) (宿泊費・食費含まず。別途清算となります。)

3 日間 (A,B,C) コース受講時 社会人 33,000 円、学生 21,000 円

2 日間 (B,C) コース受講時 社会人 22,000 円、学生 14,000 円

カリキュラム A は合格まで何回受講しても初回以外は無料

不合格による追加受講 無料 (合格まで責任もって指導致します)

※ 別途清算費用 (宿泊費・食費)：3 日間コースの場合、国立登山研修所では 1 万円程度、

その他の会場では会場使用料が加わり 15,000 円程度。(会場により異なります。)

※ 通いで受講不可

※ 学生料金の適用は受講年度に 26 歳以下とする。

## 8. 担当・講師

### (1) 講習会開催責任者

UIAA/ICAR/ISMM 認定英国国際山岳医 大城和恵

### (2) 講習会統括講師

UIAA/ICAR/ISMM 認定国際山岳医 土井 理

### (3) 講習会主任講師

UIAA/ICAR/ISMM 認定国際山岳医 佐藤真司、香川茂雄

### (4) 講習会講師

UIAA/ICAR/ISMM 認定国際山岳医、認定国内山岳医、国立登山研修所講師他

### (5) 講習会運営担当者

公益社団法人 日本山岳協会 遭難対策委員 恵秀彦

## 9. 試験

### (1) 筆記試験

カリキュラム B 終了後に、筆記試験全 20 問、30 分の〇×試験を行ないます。70 点以上が合格です。試験終了後問題解説と結果発表を致します。65 点以下の受講生には、3 日目の朝に再試験を行います。最終合格発表は、全講習終了時となります。不合格者は、次回コースで試験を受けることができます。

### (2) 実技評価

カリキュラム A, B の講習中に、実技評価を行ないます。実技の習得目標に則り、評価を行ないます。70 点以上が合格です。基準に満たない受講生にはそのポイントを解説します。筆記試験後に実技補講を行ない、再度評価します。評価結果の発表は、全講習終了時となります。

### (3) 技能評価

カリキュラム C のシナリオトレーニングでは、知識と実技を実践的に生かす技能評価を行います。基準に満たない場合、反復して行い再評価します。筆記試験で不合格者や実技が不十分であった受講生も、ここでの技能評価が高ければ最終評価に反映されます。逆に、実技と筆記試験が高得点でも、技能評価が基準を満たさないと、実践で生かせないということになり最終評価が低くなります。結果発表は、全講習終了時に行ないます。

### (4) 終了認定

筆記試験、実技試験、総合技能評価の全ての基準を満たした者は、各コース (A, B-S, C-S または A, B-W, C-W) の終了認定を受けます。カリキュラム構成に示したとおり、A, B-S, B-W, C-S, C-W のすべての評価基準を満たすと basic provider 認定となります。夏 (あるいは冬) コースで評価基準を満たさなかった場合、A カリキュラムについては冬 (あるいは夏) コースで再評価を受けることも可能です。夏冬コースともに各評価基準に満たない場合、担当医師が合格までサポートします。

## 10. 参加対象者等

(1)参加対象者

ア. 次に該当する健康な者

山岳・野外活動に関わっている人、本講習に興味のある人

(注意)：野外での活動を行うこと、グループ単位での実技を行うこと、開催場所によっては近隣に病院がないことから、体調不良時、妊娠中、感染性疾患罹患の疑い（インフルエンザなど）等の場合には、申込後でも受講をお控え下さい。主催者側の判断で、受講をご遠慮戴くことがあります（この場合はキャンセル料金発生の対象となります）。

イ. 定員 30 名程度

(2)参加申込先

ア. 上記該当者で参加を希望する者は、締切日までに参加申込書（様式 5）もしくは、同等の内容を記載して、以下まで e-mail または FAX にて申し込んで下さい。

日本登山医学会ファーストエイド委員会 e-mail: [ffaoffice@jsmmed.org](mailto:ffaoffice@jsmmed.org)、 FAX: 03-6868-6484

イ. 日本登山医学会山岳ファーストエイド委員会で協議のうえ、参加者を決定します。

ウ. 申込締切 4.の項を参照

11.受講料

(1) 4.の項を参照

(2)振込期限 受講決定者に連絡致します。

(3)振込先 受講決定者に連絡致します。

(4)参加できなくなった場合の受講料の返金について

原則、運営者側の責任により受講出来なくなった場合のみ、受講料をお返しします。

①開催日から 14 日前：支出済経費、振込手数料を除いた額を返金。

②開催日から 14 日未満：支出済経費、振込手数料、キャンセル料を除いた額を返金。

7～13 日前 キャンセル料 30%

2～6 日前 キャンセル料 50%

前日および当日 キャンセル料 100%

【問い合わせ先】

日本登山医学会事務局内 ファーストエイド委員会

e-mail: [ffaoffice@jsmmed.org](mailto:ffaoffice@jsmmed.org)

電話 03-6869-0510 FAX 03-6868-6484

【更新履歴】：平成 28 年 3 月 22 日 学生料金の適用について追加

平成 28 年 4 月 1 日 スポーツ庁の後援を戴きました